

小曾根真

ピアノソロ

“クラシック×ジャズ”2018

世界を駆ける小曾根真がその響きを高く評価する福岡シンフォニーホールで、多くのジャズ・ミュージシャンをも魅了する“音楽の父”・バッハにも挑む。クラシック、ジャズ、オリジナルと時空を超えた多彩なレパートリーを、さらに磨きのかかった小曾根真のピアノソロと、日本を代表する世界的トロンボーン奏者・中川英二郎とのデュオでも堪能できる極上の一夜!



©武藤 章

スペシャルゲスト
中川英二郎
(トロンボーン)

クラシック界も注目する
世界的ジャズピアニスト
小曾根真がおくる二夜限りの

Classic
×
Jazz

2018 **11.29** [木] OPEN 18:30
START 19:00

福岡シンフォニーホール

福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡1階



TICKET S席¥6,500 / A席¥5,000 / 学生(Aエリア)¥2,000
(税込・全席指定) ※学生券取扱は、アクロス福岡、ヨランダオフィスのみ

一般発売日:7月1日(日)

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※有料託児サービスあり(要予約)詳細は裏面をご覧ください。

- アクロス福岡チケットセンター TEL:092-725-9112
- ヨランダオフィス・チケットセンター (10:00~18:00) <http://yolanda-office.com/>
TEL:0570-033-337(ナビダイヤル) 092-406-1771
- チケットぴあ TEL:0570-02-9999(Pコード:114-172) <http://t.pia.jp/>
※セブン-イレブン、サークルKサンクスでも購入可
- ローソンチケット TEL:0570-084-008(Lコード:82551) <http://l-tike.com/>
※ローソン、ミニストップでも購入可

主催 / FM FUKUOKA ヨランダオフィス 共催 / 公益財団法人アクロス福岡 後援 / 福岡市

お問合せ ☎ 0570-033-337 (ナビダイヤル) 092-406-1771
ヨランダオフィス・チケットセンター(10:00~18:00)

クラシック界も注目する 世界的ジャズピアニスト小曾根真がおくる一夜限りの

スペシャルゲスト: 中川英二郎 (トロンボーン)

Classic × Jazz



小曾根真 (ピアノ) Makoto Ozone

1983年バークリー音大ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。

以来、ソロ・ライブをはじめゲイリー・バートン、ブランフォード・マルサリス、パキート・デリベラなど世界的なトッププレイヤーとの共演や、自身のビッグバンド「No Name Horses」を率いてのツアーなど、ジャズの最前線で活躍。

近年はクラシックにも本格的に取り組み、国内外の主要オーケストラと、バーンスタイン、モーツァルト、ラフマニノフ、プロコフィエフなどの協奏曲で共演を重ね、「比類のない

演奏で、観客は魅了され大絶賛した」(北独ノーファー新聞)など高い評価を得ている。

2010年、ショパン生誕200年を記念したアルバム「ロード・トゥ・ショパン」を発表し同名の全国ツアーを成功させ、ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与される。

2014年にはニューヨーク・フィルのソリストに抜擢され、韓国、日本、ニューヨーク公演で共演。以来、サンフランシスコ響、デトロイト響、ラビニア音楽祭(シカゴ響)に招かれるなど、米国でも躍進を続けている。

2016年には、チック・コリアとの日本で初の全国デュオ・ツアーを成功させ、17年にはゲイリー・バートンの引退記念となる日本ツアーを催行。また、秋には10年ぶりに小曾根真THE TRIOを再結成し、最新アルバム「ディメンションズ」をリリース。また、11月には再びニューヨーク・フィルに招かれ、「バーンスタイン生誕100年祭」の定期演奏会に出演。アラン・ギルバートの指揮のもと、「不安の時代」とガーシュウィン「ラブソディ・イン・ブルー」を3日連続で熱演し、リンカーン・センターの満場の聴衆から大喝采を得た。このライブ録音は、18年3月、ユニバーサル・ミュージックより「ビヨンド・ボーダーズ」と題して、小曾根真の初のクラシックアルバムとして、CDリリースを果たした。

映画音楽など、作曲にも意欲的に取り組み、多彩な才能でジャンルを超え、幅広く活躍を続けている。

オフィシャルウェブサイト
<http://makotoozone.com/>

小曾根真、初の本格 クラシック・アルバム。

BEYOND BORDER ビヨンド・ボーダー

ニューヨーク・フィルハーモニック
指揮: アラン・ギルバート
ピアノ: 小曾根真

UCCU-1568
3,000円+税

発売中!



名門オーケストラと繰り広げた、
ジャンルの壁を超える感動のNY公演を収録。

《収録曲》

1. ジョージ・ガーシュウィン「ラブソディ・イン・ブルー」
- 2-3. レナード・バーンスタイン 交響曲第2番「不安の時代」

ジャンルを超え世界規模での活躍を続ける小曾根真。2014年には、アメリカ5大オーケストラのひとつであるニューヨーク・フィルハーモニックのアジア・ツアーに初の日本人ジャズ・ピアニストとして抜擢され、その後ニューヨークでの特別公演にも出演。その成功はニューヨーク・タイムズ紙をはじめ多くのメディアで絶賛されました。

そして2017年11月2~4日、ニューヨーク・フィルの本拠地であるリンカーン・センター内のデヴィッド・ゲフィン・ホール(2,738席/旧名称イヴリー・フィッシャー・ホール)で開催された同楽団の定期演奏会「バーンスタイン生誕100周年祭」にソリストとして出演。3日間の公演は完全ソールドアウト。連日熱演を繰り広げ、聴衆からはスタンディングオベーションの大喝采を受けました。

演奏曲は、小曾根が得意とするレパートリーのジョージ・ガーシュウィン「ラブソディ・イン・ブルー」とレナード・バーンスタイン交響曲第2番「不安の時代」。

「ラブソディ・イン・ブルー」では独自のカデンツァと絶妙なアドリブ(即興演奏)が随所に散りばめられた華やかな演奏。そして「不安の時代」では、深遠な色彩とリズムに溢れた秀逸な演奏を展開しています。

中川英二郎 (トロンボーン) Eijiro Nakagawa

5歳でトロンボーンを始め、高校在学中に初リーダー作をニューヨークで録音。名だたるビッグ・アーティストとの共演を始め、映画、CM、TVなど多くの録音でも知られる。2007年、日本人として初めて米「トニー賞」授賞式に出演し2008年にはNHK連続テレビ小説「瞳」のメインテーマを演奏。国内主要

オーケストラとも共演するなど、多彩な才能を発揮し、日本を代表する世界的トロンボーン奏者として幅広い活動を行っている。

2018年5月には、NYフィルの首席トロンボーン奏者、ジョセフ・アレッシとタッグを組み、NYのジャズシーンには欠かせない、マーシャル・ギルクス、オランダ放送フィルの名奏者プラント・アテマを加えて4人の世界的トロンボーン奏者による、「Slide Monsters」を結成、CDリリースとともに初の日本全国ツアーを実施。

中川英二郎オフィシャルウェブサイト
<http://www.eijiro.net/>



託児サービスの
ご案内

託児サービス(生後4か月から小学校入学前のお子様)をご希望の方は、チケットご購入の後、右記にお申込みください。受付は公演前日(土・日・祝日は受け付けを行いません)までですが、定員になり次第締め切らせていただくことがあります。※なお、託児料の一部としてお子様一人につき1000円をご負担いただきます。

☎ 0120-8000-29 tel.092-263-3580
(株)テノ・サポート(月~金曜日 9:00~18:00)